

聴覚障害者のための就労移行支援事業

✉ soudan@ap.wakwak.com

📞 03-5464-6058

📞 03-5464-6059

💻 <https://www.jsc.deaf.tokyo/>

東京聴覚障害者自立支援センター



## 「働きたい」聴覚障害者のための RONAスクール



# 聴覚障害者のための就労移行支援事業です



スタッフは全員  
手話ができます

当法人は、聴覚障害当事者の公益社団法人（非営利団体）です。

相談支援員は、聴覚障害当事者や手話通訳士の**社会福祉士**や**精神保健福祉士**等なので、すべての相談を**手話**または**相談者に合わせたコミュニケーション**で対応できます。

（事業所番号:1311301145）

## RONAスクールとは…？

耳が聞こえない人については、「ろう者」、「難聴者」という呼び方があります。ろう者の「ろ」と難聴者の「な」を合わせることによって、「耳が聞こえないすべての人を支援する」という意味を込めて「RONAスクール」という名前をつけました。

## 就労移行支援ってなに？

障害者総合支援法に基づく、障害がある人の就労を支援する障害福祉サービスです。最長2年まで利用することができ、一般就労に必要な知識やスキルを養い、本人の適性に合った職場への就労と定着を支援する事業です。

## 当センターで行ってきた支援



### 聴覚障害者へのジョブコーチ支援

2008年から東京ジョブコーチ職場定着支援事業（東京都補助事業）に当センターの相談支援員が登録し、聴覚障害者の支援を行ってきました。この10年間の実績から、働く聴覚障害者を取り巻く現状の課題がわかつてきました。



### ろう学校でのスクールソーシャルワーク

当センターでは、都立ろう学校でのスクールソーシャルワーク支援を実施しています。在学中から関わることによって、就労支援が必要な生徒さんに対し、支援の手が途切れることなくスムーズにサポートできます。

## 聴覚障害者への支援でわかったこと



### 長く働くために必要なのは

#### 社会性とコミュニケーション力



いきいきと働き続けるために大切なのは、特別なスキルではなく、相手を思いやり自分の気持ちを上手に伝えながら様々な人と協力していくことができる、社会性やコミュニケーションの力です。

### 教育から就労への移行の重要性



聴覚障害者が健聴者と良好な人間関係を築くためには、健聴者について理解し、マイノリティである聞こえない自分を表現するコミュニケーションスキルを学ぶ機会が必要です。しかし、現在の18歳までの教育課程では、どうしてもこうした経験が不足してしまいます。

### 聴覚障害者の支援ができる社会資源の少なさ



手話などでコミュニケーションができる、聴覚障害に理解がある支援機関はほとんどありません。聴覚障害者が一般の支援機関の就労支援を受けようとしても、コミュニケーションの課題等により、適切な支援を受けられないことが多いです。

# プログラム内容

STEP  
1

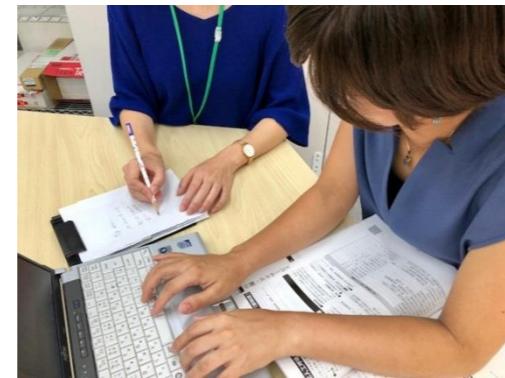
## 就職準備



- ・健聴者の考え方やマナーについて学びます。
- ・聴覚障害の先輩の話を聞いて、自分がやりたい仕事を考えます。
- ・仕事に必要な基本スキルを身につけます。

STEP  
2

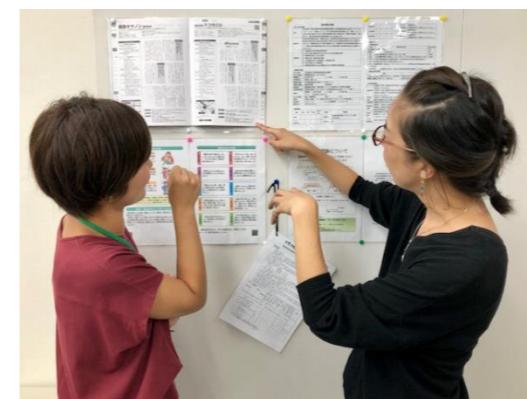
## 職場体験実習



- ・実際の職場で、色々な人のコミュニケーションを学びます。
- ・実際に働いてみて、良かったこと、困ったことを整理します。
- ・どんな仕事内容や職場環境が自分にとって働きやすいか一緒に考えます。

STEP  
3

## 求職活動



- ・自分が働きたい仕事や希望の条件と一緒に考えます。
- ・スタッフと相談しながら、自分に合う会社を探します。
- ・言いたいことがきちんと伝わる履歴書の書き方や面接を練習します。

STEP  
4

## 定着支援



- ・就職した後も、スタッフが定期的に職場へ訪問します。
- ・生活の相談もできます。
- ・キャリアアップの相談もできます。

# 支援の3つの柱



### 聴覚障害者が**主体的に** 社会と関わる力を高める

健聴者の考え方やマナーについての学習プログラムを取り入れています。聴覚障害者が、健聴者とのコミュニケーションのギャップに対し、主体的に解決していくよう支援します。



### 企業に対する 聴覚障害の理解啓発

聴覚障害者が長く働き続けるためには、企業が聴覚障害者一人一人について十分に理解した上で採用することが大切です。  
聴覚障害者と健聴者双方が働きやすい職場環境の整備を支援します。



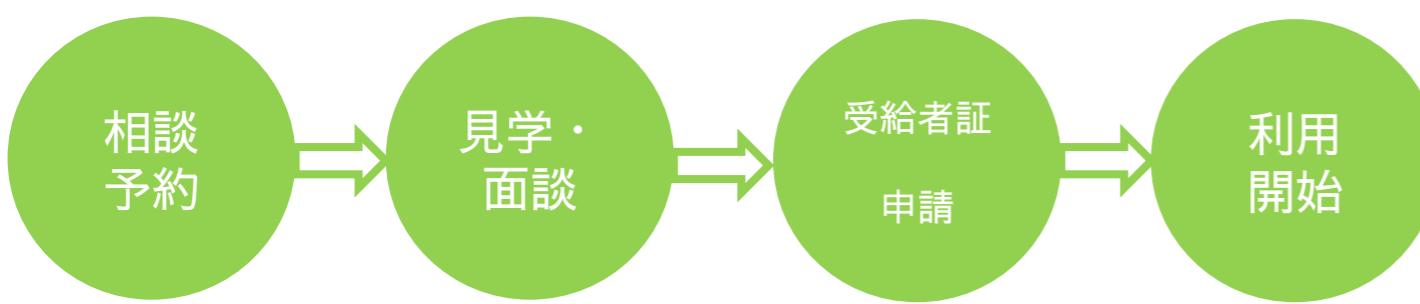
### 地域の支援 ネットワーク作り

地域の社会資源への同行等を通して、聴覚障害者が利用しやすい地域の支援ネットワーク作りを支援します。

## ある日のRONAスクール（例）

9:30	出勤・朝礼
10:00	ビジネススキル 「Wordの基本」
12:00	昼食
13:00	コミュニケーションプログラム 「筆談でのズレを防ぐ 指示の受け方」
15:00	帰宅

## 利用までの流れ



まず相談予約をお願いします。

相談支援員が、支援内容を詳しく説明します。実際に通う場所を見学できます。

お住まいの地域の障害福祉課等で、受給者証の申請手続きをします。

受給者証が発行されたら、利用開始できます。

### よくある質問

**Q どんな人が通えるのですか？**

**A** 原則として18歳から65歳の聴覚障害者であれば、利用できます。

- ・18歳未満でも受けられる場合があります。
- ・東京都以外の在住の方も、毎日センターに通えるのであれば大丈夫です。
- ・身体障害者手帳がない方は、お住まいの地域の障害福祉課等にお問合せください。

**Q お金はどれくらいかかりますか？**

**A** ほとんどの方が無料で受講できます。

- ・収入の状況により自己負担が発生する場合があります。詳しくはお住まいの地域の障害福祉課等へお問合せ下さい。
- ・手当の支給はありません。交通費はお住まいの地域によって補助がある場合があります。

**Q 手話ができないても大丈夫ですか？**

**A** 手話ができないても大丈夫です。

- ・プログラム中は、パワーポイントの投影や教科書を使って、文字での情報提示も行います。
- ・他の利用者やスタッフと毎日会話しながら、楽しく手話を覚えられるようサポートします。

## アクセス



住 所 〒150-0011 東京都渋谷区東一丁目23番3号

- ・渋谷駅東口より徒歩10分 渋谷駅新南口より徒歩5分  
(JR山手線・東京メトロ線・田園都市線、東急東横線、京王井の頭線等)
- ・都バス(都06・田87)・東急バス(渋71・渋72)「並木橋」下車(徒歩3分)

## センター沿革

1998年 岡沢ひさ様（ろう者）より土地の寄付を受ける。  
東京聴覚障害者自立支援センター開所



2007年 相談支援を開始  
都立ろう学校での支援開始

2008年 東京ジョブコーチ職場定着支援事業登録開始

2009年 障害者委託訓練事業開始

2013年 公益社団法人資格取得

2018年 就労移行支援事業開始

聴覚障害者のことなら  
お気軽に  
ご連絡下さい